

## レポート チェコ国際ギターコンクール“Guitartalent”と“Brno-Tokyo” in Brno

2016年8月9日と10日にチェコ南部ブルノ市で国際ギターコンクールが行われました。今年は、チェコ、ベラルーシ、オーストリア、ウクライナ、メキシコ、スロバキア、イタリア、ポーランド、日本、アルゼンチン、ロシア、フランスと12カ国から誠に国際色豊かに32名の参加者が集まりました。下の写真はプログラムの表紙です。



このコンクールは今年2016年より日本のバウハギター協会と提携し、以前から存続している年齢制限18歳までのジュニア・ギター・タレント部門に加え、年齢制限なしのシニア部門Brno-Tokyoの2部門による毎年の開催となりましたが、今年のジュニア・ギター・タレント部門の参加者は15名、シニア部門の参加者は17名でした。

ジュニア・ギター・タレント部門 Category Guitartalent Junior の審査結果は次のとおりです。



### 1位 Elia PORTARENA

イタリアから参加した16歳。

ソルの魔笛、ロドリゴのサパティアードを見事に演奏。

受賞記念としてロスアンジェルス・ギター・カルテットのコンサートにも出演。

2位 Antonia Haslinger - バリオスの大聖堂、ボグダノヴィッチの6つのバルカン・ミニアチュアを演奏。

3位は次の2名、Darya Chernikova - メルツのエレジー、ヨークのサンバーストを演奏。

Eliska Dedkova - メルツの遙かなる友へ、プロウエルの舞踏礼賛を演奏。



審査員一同：加藤政幸、(左から2人目は時間計測係り)、マリア・リネマン、ルチアーノ・トルトレリ、アーノルド・ガルシア、エドゥアルド・パスカル・ディエツ、ミラン・テッサール、パトリック・ケーニ、パヴェル・シテファル、ヨゼフ・ハルツァ、イゴール・ショシン、以上10名。(ジュニア・ギター・タレント部門審査委員長はドイツからのマリア・リネマン女史 左から3人目)

シニア部門 Category Brno-Tokyo の審査結果は次のとおりです。



**1位 Igor KLOKOV**

ロシアからの22歳。トリーナのソナタ1, 3楽章、ヴィラロボスの練習曲12番、タンスマンのスクリャピンの主題による変奏曲を演奏。

受賞記念として Elia PORTARENA と共にロスアンジェルス・ギター・カルテットのコンサートにも出演。

**2位 Raphael MATA**

フランスからの18歳。アルベニスのマジョルカ、アグアドのロンド、バリオスのワルツ3番を演奏。

**3位 菊池翔天**

日本からの参加。イザイの「ヴァイオリンソナタ第2番 作品27より」を演奏。

1位から6位まで僅差の得点で大変な接戦となりました。

また、主催者側の事情で今回は1位から3位までそれぞれ1名までの受賞となりました。



上の写真の左端は、コンクール・セクレタリーの カテリーナ・ヴァシコヴァ。多くの事務処理などをこなしたフェスティバル、コンクール運営の重要人物。

後ろに立っているのは主宰者：ウラディスラフ・ブラハ。

(シニア部門の審査委員長は加藤政幸)



これはコンサート会場のひとつの New City Hall